

# あきる野市 学校施設長寿命化計画

～学校施設の適正な維持管理のために～

令和3年3月

あきる野市教育委員会

— 目 次 —

1	背景・目的等.....	1
	(1) 背景.....	1
	(2) 目的.....	1
	(3) 計画期間.....	2
	(4) 対象施設.....	2
2	学校施設の目指すべき姿.....	3
	(1) 学校施設の目指すべき姿.....	3
	(2) 学校施設の課題.....	3
3	学校施設の実態.....	5
	(1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態.....	5
	① 対象施設一覧.....	5
	② 児童・生徒数及び学級数の変化.....	6
	③ 学校施設の配置状況.....	7
	④ 施設関連経費の推移.....	8
	⑤ 学校施設の保有量.....	9
	⑥ 今後の維持・更新コスト（従来型）.....	9
	(2) 学校施設の老朽化状況の実態.....	11
	① 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価.....	11
	② 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）.....	18
4	学校施設整備の基本的な方針等.....	20
	(1) 学校施設の規模・配置計画等の方針.....	20
	① 学校施設の長寿命化計画の基本方針.....	21
	② 学校施設の規模・配置計画等の方針.....	22
	(2) 改修等の基本的な方針.....	23
	① 長寿命化の方針.....	23
	② 予防保全の方針.....	23
	③ 目標使用年数及び改修周期の設定.....	23
	④ 構造に関する方針.....	24
5	基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等.....	26
	(1) 改修等の整備水準.....	26
	(2) 維持管理の項目・手法等.....	26
6	長寿命化の実施計画.....	27
	(1) 改修等の優先順位付けと実施計画.....	27

7	長寿命化計画の継続的運用方針.....	30
(1)	情報基盤の整備と活用.....	30
(2)	推進体制等の整備.....	30
(3)	財源の確保.....	30
(4)	フォローアップ.....	31

# 1 背景・目的等

## (1) 背景

あきる野市の学校施設は、昭和 30 年代後半から 50 年代の急激な人口増加に伴う児童・生徒数の増加に合わせて集中的に整備され、全公共施設延床面積のおよそ半数を占めています。

また、社会状況や教育内容・教育方法等の多様化、防災機能の強化、バリアフリー、環境への配慮など学校施設へのニーズが時代とともに変わり、付加的な機能の補完なども求められています。

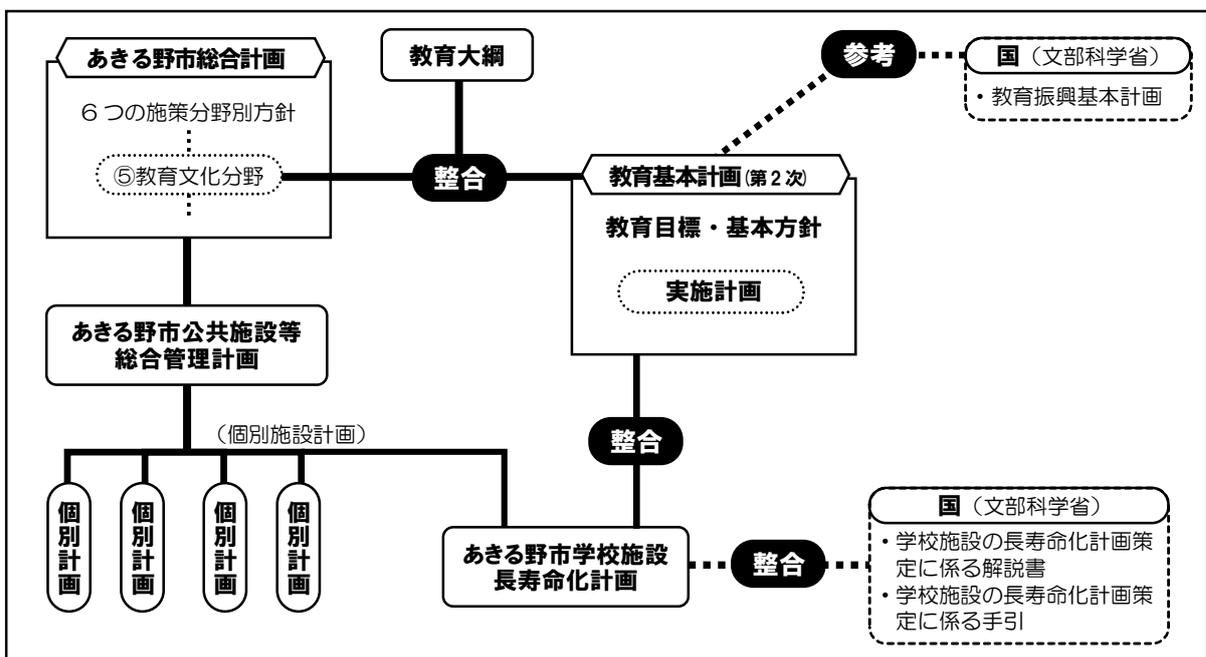
今後、学校施設の機能改善、老朽化対応の修繕及び建替えに多額の費用が必要になると考えられますが、前述のような状況も踏まえ、計画的な施設改修や維持管理、施設の有効活用等の学校施設の適切な維持管理が求められています。

## (2) 目的

「あきる野市学校施設長寿命化計画（以下「本計画」という。）」は、上記の背景を踏まえて学校施設を総合的観点で捉え、長寿命化できるものは長寿命化し、適切な改修や建替え、教育環境の質的改善なども考慮しながら、これに要するコストの縮減と支出の平準化を図ることを目的としたものです。

文部科学省では「インフラ長寿命化計画」を策定するとともに、各地方自治体に学校施設長寿命化計画の策定を要請しています。本計画は、「あきる野市公共施設等総合管理計画」（平成 28 年 3 月）に基づく学校施設の個別施設計画と位置付けられているものであり、学校施設の施設整備に関する事業計画は、本計画に基づき策定していくこととします。

【図 1-1 計画の位置付け】



(3) 計画期間

本計画の計画期間は、学校施設の中長期にわたっての維持管理を推進するため、令和3年度から10年間としますが、コスト試算の期間は40年とします。

なお、社会情勢の変化などにより修正の必要が生じた場合は、随時見直しを行うものとしてします。

(4) 対象施設

あきる野市が保有する学校施設（小学校、中学校）を対象とします。

学校施設		施設数
小学校	東秋留小学校 多西小学校 西秋留小学校 屋城小学校 南秋留小学校 草花小学校 一の谷小学校 前田小学校 増戸小学校 五日市小学校	10校
中学校	秋多中学校 東中学校 西中学校 御堂中学校 増戸中学校 五日市中学校	6校

## 2 学校施設の目指すべき姿

### (1) 学校施設の目指すべき姿

学校施設の長寿命化に向けて、老朽化対策や時代のニーズに対応した施設整備を進めていきます。

本市の学校施設の目指すべき姿は、次のとおりです。

#### 安全・ 防災面

- ・誰もが安全・安心に利用できる施設
- ・災害時の拠点として機能する施設

#### 学習・ 生活面

- ・多様な学習への対応やきめ細かな指導ができる施設
- ・誰もが快適に利用できるクラス

#### 複合化・ 効率化

- ・他の公共施設との複合化を視野に入れた地域に開かれた施設
- ・省エネルギーに配慮した環境負荷の少ない施設

### (2) 学校施設の課題

学校施設の改修や建替え時期は、市財政に大きく影響することが懸念されます。本市の財政状況や学校施設の実態を踏まえ、学校施設の目指すべき姿を実現するための課題を次のように整理します。

#### 安全・防災面

##### 進む老朽化と安全対策

外壁や屋上防水の劣化による雨漏りなどは、構造躯体の劣化にもつながり建物の寿命を早めてしまいます。また、現行法に適合しない施設もあるため、安全性を確保するための改修が早期に求められます。

##### 防災機能の強化

災害発生時には、地域の防災拠点になることから、避難所としても機能する施設整備が必要です。

## 学習・生活面

### 多様な学習内容、学習形態への対応

パソコンをはじめとする情報機器の活用や社会のグローバル化に対応した学習内容など、今後求められる学習形態に柔軟に対応できる学習環境を整えることが必要です。

### 学校施設の機能改善や環境向上に向けた取組

児童・生徒だけでなく、職員や地域住民の利用にも配慮した施設整備を進める必要があります。段差解消や手すりの設置など、バリアフリー化が進んでいない学校の整備を進めることが重要です。

## 複合化・効率化

### 地域の実情に応じた計画的・効率的な施設整備

学校施設については、地域に開かれたコミュニティ施設としても利用されていることから、大規模な改修を行う際には、他の公共施設との複合化なども視野に入れる必要があります。

また、ランニングコストの圧縮、境負荷低減等に配慮した設備の導入や整備手法などについても検討する必要があります。

### 3 学校施設の実態

#### (1) 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

##### ① 対象施設一覧

本市には、小学校 10 校と中学校 6 校、合計 16 校の学校施設があり、その施設数及び延べ床面積は、小学校は 82 棟、47,600 m<sup>2</sup>、中学校は 65 棟、39,330 m<sup>2</sup>で、全小・中学校を合わせると 147 棟、86,930 m<sup>2</sup>になります。屋外プール施設や屋外照明設備等の工作物は、計画対象外としています。

【表 3-1 対象施設一覧】

名 称	住 所	延床面積 (m <sup>2</sup> )	建築年度	児童・生徒数 (人)		学級数 (学級)		
				通常学級 在籍者数	特別 支援	通常 学級	特別 支援	
小 学 校	東秋留小学校	あきる野市野辺 1123	4,922	昭和 39 年	458	27	16	4
	多西小学校	あきる野市草花 2885	4,516	昭和 39 年	477		14	
	西秋留小学校	あきる野市上代継 292	4,113	昭和 39 年	419		14	
	屋城小学校	あきる野市二宮東 1 丁目 12 番地 1	4,147	昭和 45 年	224		8	
	南秋留小学校	あきる野市雨間 810	4,772	昭和 48 年	419		15	
	草花小学校	あきる野市草花 3130	5,762	昭和 49 年	675	24	20	3
	一の谷小学校	あきる野市引田 970	3,925	昭和 50 年	142	19	6	3
	前田小学校	あきる野市野辺 92	4,359	昭和 51 年	304		12	
	増戸小学校	あきる野市伊奈 1173	5,014	昭和 47 年	555		18	
	五日市小学校	あきる野市五日市 315	6,070	昭和 45 年	404	28	13	4
<b>小学校 計</b>		<b>47,600</b>		<b>4,077</b>	<b>98</b>	<b>136</b>	<b>14</b>	
中 学 校	秋多中学校	あきる野市二宮 334	7,212	昭和 39 年	429		12	
	東中学校	あきる野市平沢 200	7,951	昭和 47 年	616	27	17	4
	西中学校	あきる野市上代継 190	6,887	昭和 54 年	272	19	9	3
	御堂中学校	あきる野市草花 3322	6,344	昭和 57 年	302		10	
	増戸中学校	あきる野市伊奈 1181	4,934	昭和 43 年	237		8	
	五日市中学校	あきる野市五日市 400	6,002	昭和 37 年	208	16	6	2
<b>中学校 計</b>		<b>39,330</b>		<b>2,064</b>	<b>62</b>	<b>62</b>	<b>9</b>	
<b>小・中学校合計</b>		<b>86,930</b>		<b>6,141</b>	<b>160</b>	<b>198</b>	<b>23</b>	

※ 児童・生徒数及び学級数は、令和 2 年 5 月 1 日時点

※ 延床面積は、【表 3-4 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価】から引用

※ 建築年度は、最も古い建物の建築年度を採用

② 児童・生徒数及び学級数の変化

〈児童・生徒数〉

(人)

年 度	これまでの推移						将来推計			
	1995 平成 7	2000 平成 12	2005 平成 17	2010 平成 22	2015 平成 27	2020 令和 2	2025 令和 7	2030 令和 12	2035 令和 17	2040 令和 22
児童数	5,202	4,698	4,730	4,732	4,530	4,175				
生徒数	2,657	2,446	2,187	2,305	2,245	2,126				
合 計	7,859	7,144	6,917	7,037	6,775	6,301	5,525	5,037	4,728	4,558

※実績値（これまでの推移分）については、各年 5 月 1 日時点

※旧秋川市と旧五日市町の合併年である平成 7 年（1995 年）の数値については、同時期の記録がないことから、平成 8 年（1996 年）3 月 1 日時点のデータとしています。

※児童・生徒数は、令和 22 年（2040 年）までに、現在の 72%程度まで減少する見込みです。

〈学級数〉

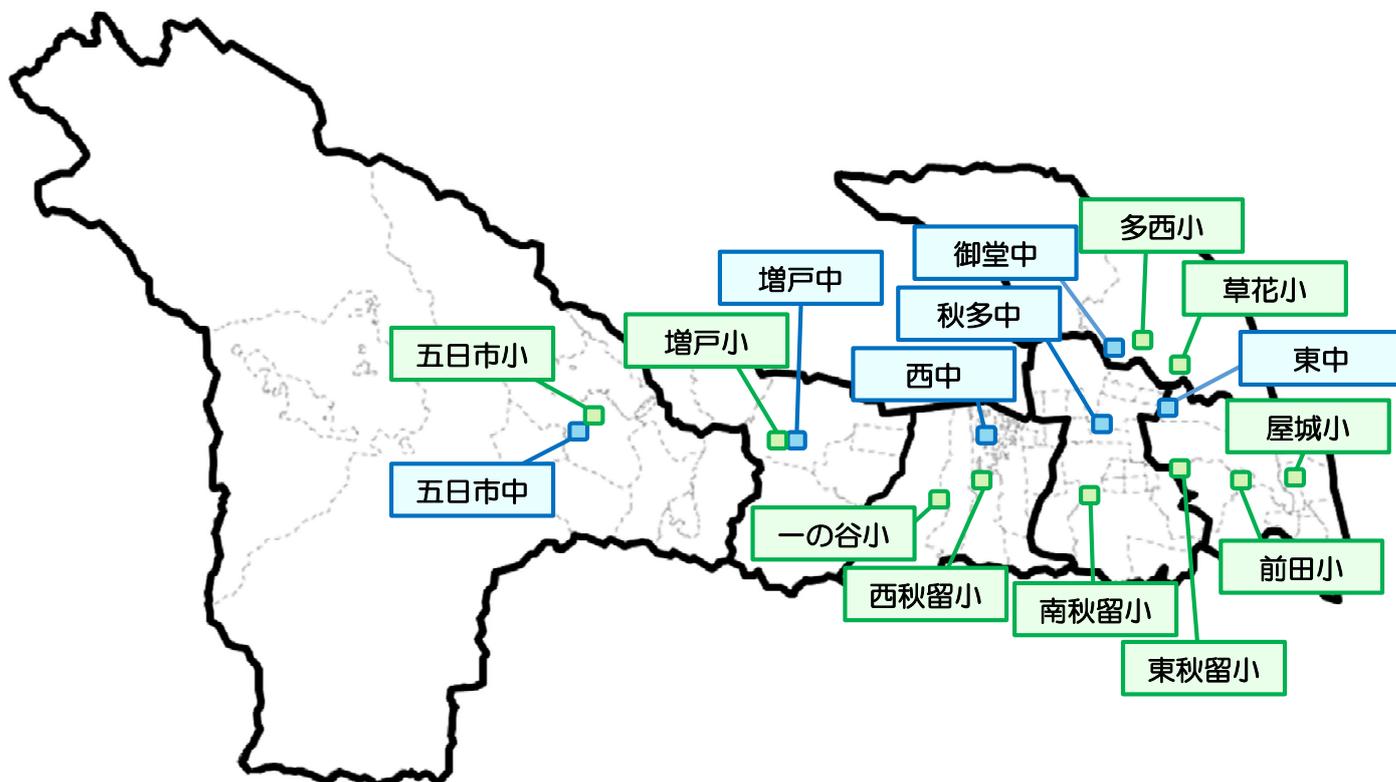
(学級)

年 度	これまでの推移					
	1995 平成 7	2000 平成 12	2005 平成 17	2010 平成 22	2015 平成 27	2020 令和 2
小学校	171	158	164	178	165	150
中学校	80	71	65	75	75	71
合 計	251	229	229	253	240	221

③ 学校施設の配置状況

学校施設は、小学校 10 校と中学校 6 校が下図のとおり配置されています。

【図 3-1 学校施設の配置状況】

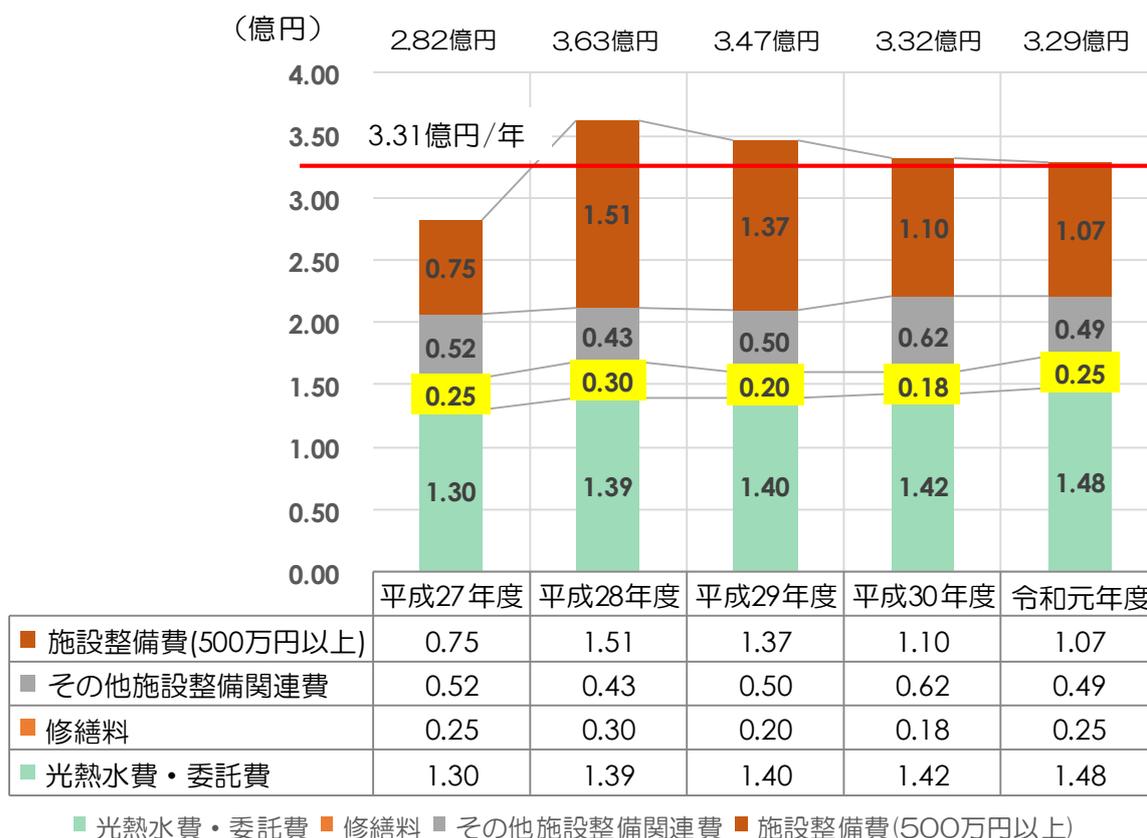


学校名	創 立	学校名	創 立
東秋留小学校	明治 6 年 2 月 10 日	秋多中学校	昭和 33 年 4 月 1 日
多西小学校	明治 6 年 4 月 10 日	東中学校	昭和 48 年 4 月 1 日
西秋留小学校	明治 7 年 6 月 5 日	西中学校	昭和 54 年 4 月 1 日
屋城小学校	昭和 46 年 4 月 1 日	御堂中学校	昭和 58 年 4 月 1 日
南秋留小学校	昭和 49 年 4 月 1 日	増戸中学校	昭和 22 年 4 月 1 日
草花小学校	昭和 50 年 4 月 1 日	五日市中学校	昭和 22 年 4 月 1 日
一の谷小学校	昭和 51 年 4 月 1 日		
前田小学校	昭和 52 年 4 月 1 日		
増戸小学校	明治 6 年 4 月 1 日		
五日市小学校	明治 6 年 10 月 15 日		

④ 施設関連経費の推移

過去5年間（平成27～令和元年度）の学校施設の施設関連経費は、約2.82～3.63億円で、5年間の平均は約3.31億円/年となっています。

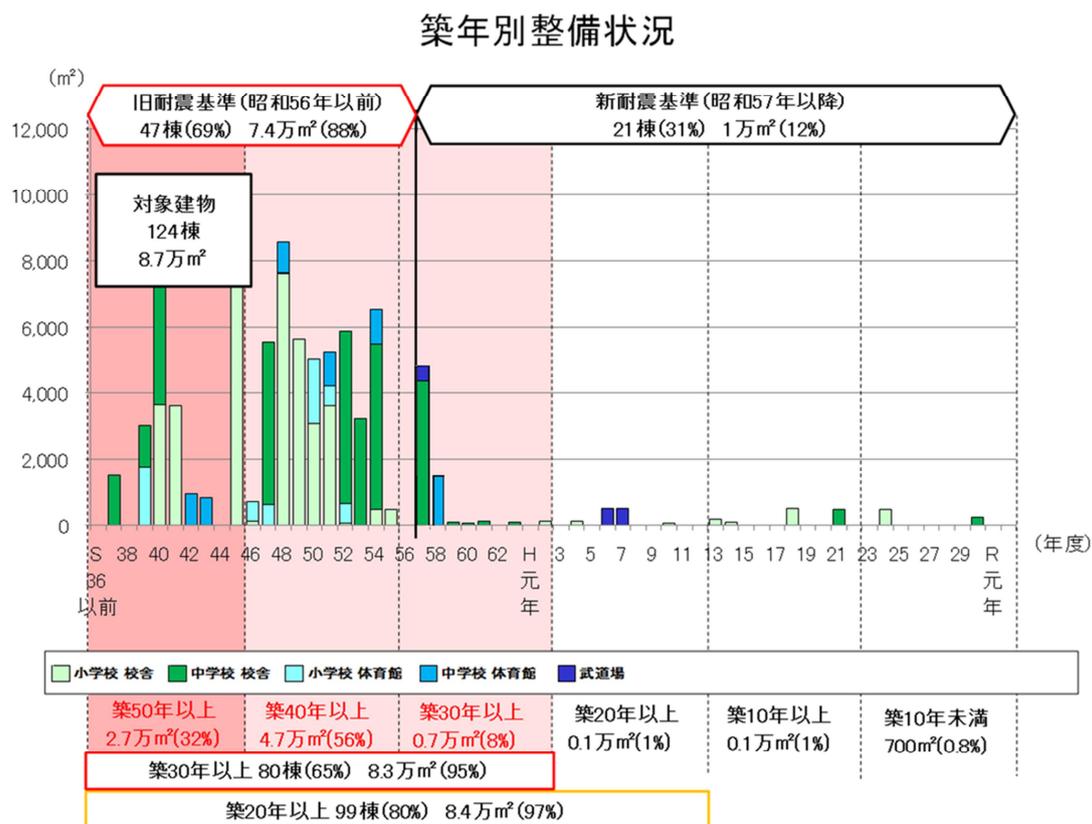
【図3-2 施設関連経費の推移】



⑤ 学校施設の保有量

計画対象の小・中学校は、築30年以上の建物が8.3万㎡（95%）あり、市の施設の中でも老朽化が特に進んでいます。また、築50年以上となる建物は2.7万㎡（32%）あることから、改築か長寿命化による対応の可能性を検討する必要があります。

【図3-3 築年別整備状況】



※ 計画対象となる建物は、小学校82棟（47,600㎡）、中学校65棟（39,330㎡）の全147棟（86,930㎡）です。このうち機械室23棟を除く124棟を対象建物とします。また、延床面積が100㎡未満の小規模な倉庫などの建物は、コスト試算対象外としています。

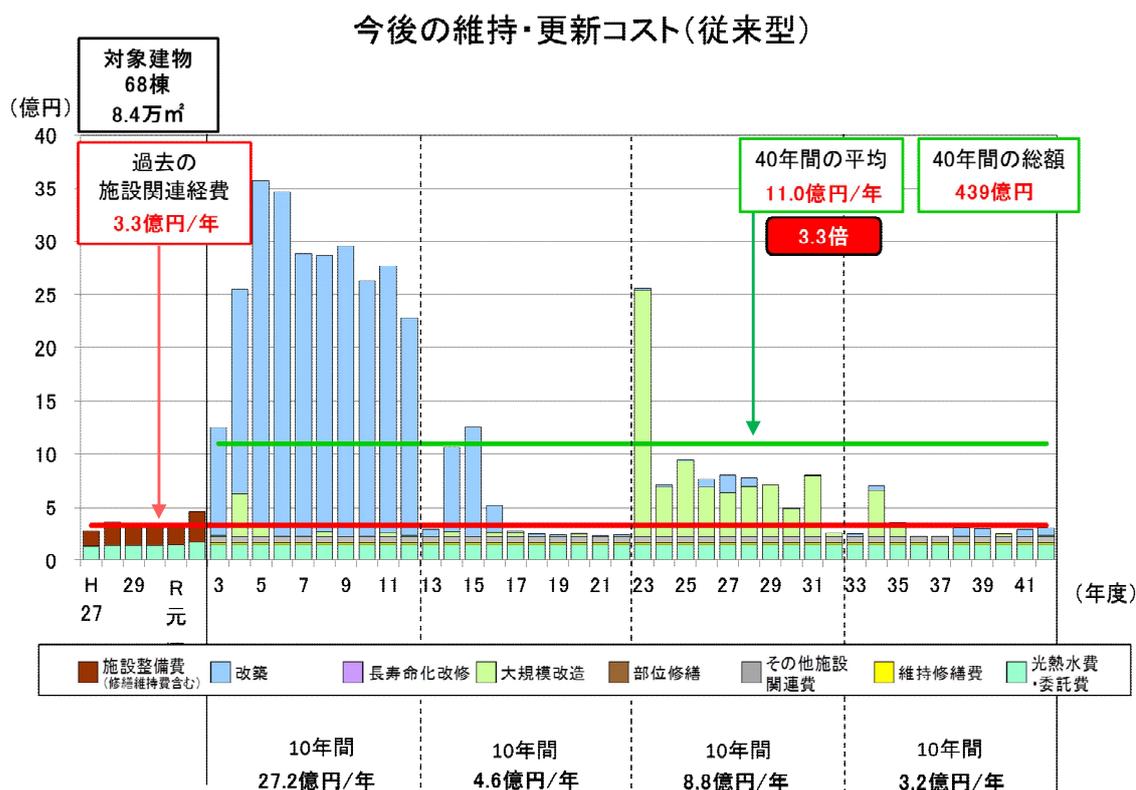
⑥ 今後の維持・更新コスト（従来型）

築後50年で改築（建替え）する従来の整備方法を採用した場合、今後40年間に必要なコストは439億円（平均約11億円/年）となります。これは、直近5年間の施設関連経費3.3億円/年を約3.3倍上回ります。

また、従来方式の場合、築後50年を超える建物の改築時期が令和3年度以

降に集中します。試算上、令和3年から10年間で約27.2億円/年の費用が必要となることから、従来の建替え中心の整備に代わる対応策が必要となっています。

【図3-4 今後の維持・更新コスト（従来型）】



※コスト試算条件（従来型）

基準年度 2020年  
試算期間：基準年の翌年度から40年間

改築（建替え）  
更新周期 50年（工事期間2年）  
実施年数より古い建物の改修を10年以内に実施  
改築単価 330,000円/㎡

大規模改造  
実施年数 20年周期（工事期間1年）  
工事単価 82,500円（改築単価の25%）

(2) 学校施設の老朽化状況の実態

① 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

<調査・評価方法>

劣化状況調査票を用いて構造躯体以外の劣化状況を把握し、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価する。

<評価基準>

【表 3-2 目視による評価（屋根・屋上、外壁）】

		評価	基準
良好  劣化	A	概ね良好	
	B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）	
	C	広範囲に劣化 （安全上、機能上不具合発生の兆し）	
	D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等	

【表 3-3 経過年数による評価（内部仕上げ、電気設備、機械設備）】

		評価	基準
良好  劣化	A	20年未満	
	B	20～40年	
	C	40年を超過	
	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合	

<健全度の算定>

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。

健全度については、文部科学省発行の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月版）」に基づき算定しています。

【表3-4 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価】

建物情報一覽表

■ : 築50年以上 □ : 築30年以上 基準 2020

A : 概ね良好 B : 部分的に劣化 C : 広範囲に劣化 D : 早急に対応する必要がある

通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	構造躯体の健全性			劣化状況評価					備考			
						学校種別	建物用途				西暦	和暦		耐震安全性	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	長寿命化判定	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備		機械設備	健全度(100点満点)	
1	1531	東秋留小学校	校舎	1+20	1-01001	小学校	校舎	RC	3	3,604	1966	S41	54	旧	済	H21	19.9	長寿命	B	C	D	C	B	36	渡廊下含む
2	1531	東秋留小学校	校舎	2	1-01008	小学校	校舎	RC	1	43	1966	S41	54	旧	-			要調査						0	東機械室
3	1531	東秋留小学校	校舎	3	1-01010	小学校	校舎	RC	1	39	1967	S42	53	旧	-			要調査						0	西機械室
4	1531	東秋留小学校	屋内運動場	4	1-01006	小学校	体育館	RC	1	591	1964	S39	56	旧	済	H21	11.8	長寿命	B	C	B	C	C	56	渡廊下含む
5	1531	東秋留小学校	校舎	12	1-01007	小学校	校舎	S	1	44	1980	S55	40	旧	-			改築	C	C	C	C	-	40	プール付属室
6	1531	東秋留小学校	校舎	14	1-01012	小学校	校舎	S	1	33	1985	S60	35	新	-			改築	B	B	B	B	-	75	倉庫
7	1531	東秋留小学校	校舎	15	1-01013	小学校	校舎	S	1	58	1988	S63	32	新	-			改築	B	B	B	B	-	75	体育倉庫
8	1531	東秋留小学校	校舎	16	1-01014	小学校	校舎	S	1	10	1998	H10	22	新	-			改築	B	B	B	B	-	75	倉庫
9	1531	東秋留小学校	校舎	17	1-01015	小学校	校舎	S	1	10	1998	H10	22	新	-			改築	B	B	B	B	-	75	倉庫
10	1531	東秋留小学校	校舎	18+19	1-01004	小学校	校舎	S	1	490	2006	H18	14	新	-			長寿命	B	B	B	A	A	81	西校舎
11	1532	多西小学校	校舎	1+14	1-02001	小学校	校舎	RC	3	3,639	1965	S40	55	旧	済			長寿命	B	D	D	C	C	23	校舎
12	1532	多西小学校	校舎	2	1-02005	小学校	校舎	RC	1	45	1968	S43	52	旧	-			要調査	C	C	C	C	C	40	西機械室
13	1532	多西小学校	校舎	3	1-02007	小学校	校舎	RC	1	40	1968	S43	52	旧	-			要調査	C	C	C	C	C	40	東機械室
14	1532	多西小学校	屋内運動場	4	1-02003	小学校	体育館	RC	1	591	1964	S39	56	旧	済			長寿命	B	C	B	A	A	71	体育館
15	1532	多西小学校	校舎	9	1-02004	小学校	校舎	S	1	53	1973	S48	47	旧	-			改築	C	C	C	C	-	40	プール付属室
16	1532	多西小学校	校舎	11	1-02010	小学校	校舎	S	1	58	1987	S62	33	新	-			改築	B	B	B	B	-	75	倉庫
17	1532	多西小学校	校舎	12	1-02011	小学校	校舎	S	1	40	1989	H元	31	新	-			改築	B	B	B	B	-	75	倉庫
18	1532	多西小学校	校舎	13	1-02012	小学校	校舎	S	1	50	2002	H14	18	新	-			改築	B	B	B	B	-	75	倉庫
19	1533	西秋留小学校	屋内運動場	3	1-03005	小学校	体育館	RC	1	591	1964	S39	56	旧	済			長寿命	D	D	B	B	B	51	体育館
20	1533	西秋留小学校	校舎	5	1-03001	小学校	校舎	RC	3	3,211	1970	S45	50	旧	済			長寿命	D	C	D	C	B	31	校舎
21	1533	西秋留小学校	校舎	6	1-03007	小学校	校舎	RC	1	49	1970	S45	50	旧	-			要調査						0	機械室
22	1533	西秋留小学校	校舎	7	1-03003	小学校	校舎	S	1	105	1971	S46	49	旧	済			長寿命	C	B	B	B	C	68	プレハブ棟
23	1533	西秋留小学校	校舎	12	1-03008	小学校	校舎	W	1	21	1973	S48	47	旧	-			改築	B	B	B	B	-	75	倉庫
24	1533	西秋留小学校	校舎	13	1-03009	小学校	校舎	S	1	7	1995	H7	25	新	-			改築	B	B	B	B	-	75	焼釜小屋
25	1533	西秋留小学校	校舎	14	1-03006	小学校	校舎	S	1	63	1998	H10	22	新	-			改築	C	C	C	C	-	40	プール付属室
26	1533	西秋留小学校	校舎	15	1-03010	小学校	校舎	S	1	66	1999	H11	21	新	-			改築	B	B	B	B	-	75	倉庫
27	1534	屋城小学校	校舎	1	1-04001	小学校	校舎	RC	3	3,311	1970	S45	50	旧	済			長寿命	B	D	D	C	B	27	校舎

【表3-4 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価】

建物情報一覽表

■:築50年以上 □:築30年以上 基準 2020

A:概ね良好 B:部分的に劣化 C:広範囲に劣化 D:早急に対応する必要がある

通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	標番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	構造躯体の健全性			劣化状況評価					備考	
						学校種別	建物用途				西暦	和暦		耐震安全性	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	長寿命化判定	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備		機械設備
28	1534	屋城小学校	屋内運動場	3	1-04007	小学校	体育館	S	1	601	1971	S46	49	済		長寿命	B	D	B	C	B	52	体育館
29	1534	屋城小学校	校舎	7	1-04009	小学校	校舎	S	1	10	1990	H2	30	-		改築	B	B	B	B	-	75	焼釜小屋
30	1534	屋城小学校	校舎	8	1-04008	小学校	校舎	RC	1	165	2001	H13	19	-		改築	C	C	C	C	-	40	プール付属室
31	1534	屋城小学校	校舎	9	1-04010	小学校	校舎	RC	1	28	2001	H13	19	-		改築	B	B	B	B	-	75	プール倉庫
32	1534	屋城小学校	校舎	10	1-04011	小学校	校舎	RC	1	32	2001	H13	19	-		改築	B	B	B	B	B	75	プール機械室
33	1535	南秋留小学校	校舎	1	1-05001	小学校	校舎	RC	4	3,854	1973	S48	47	済		長寿命	A	D	B	D	C	46	校舎
34	1535	南秋留小学校	校舎	2	1-05005	小学校	校舎	RC	1	71	1973	S48	47	-		要調査						0	機械室
35	1535	南秋留小学校	屋内運動場	7	1-05003	小学校	体育館	S	1	601	1975	S50	45	済		長寿命	B	C	B	A	A	71	体育館
36	1535	南秋留小学校	校舎	12	1-05008	小学校	校舎	S	1	58	1988	S63	32	-		改築	B	B	B	B	-	75	体育倉庫
37	1535	南秋留小学校	校舎	13	1-05004	小学校	校舎	RC	1	122	1990	H2	30	-		改築	C	C	C	C	-	40	プール付属室
38	1535	南秋留小学校	校舎	14	1-05009	小学校	校舎	S	1	66	1992	H4	28	-		改築	B	B	B	B	-	75	倉庫
39	1536	草花小学校	校舎	1+13	1-06001	小学校	校舎	RC	4	4,402	1974	S49	46	済		長寿命	B	D	D	B	B	32	校舎
40	1536	草花小学校	校舎	2	1-06006	小学校	校舎	RC	1	85	1974	S49	46	-		要調査						0	機械室
41	1536	草花小学校	校舎	3	1-06005	小学校	校舎	S	1	58	1974	S49	46	-		改築	C	C	C	C	-	40	プール付属室
42	1536	草花小学校	屋内運動場	6	1-06004	小学校	体育館	S	1	601	1975	S50	45	済		長寿命	B	C	B	A	A	71	体育館
43	1536	草花小学校	校舎	14	1-06009	小学校	校舎	S	1	5	1998	H10	22	-		改築	B	B	B	B	-	75	ゴミ収納庫
44	1536	草花小学校	校舎	15	1-06003	小学校	校舎	S	1	478	2012	H24	8	-		長寿命	A	A	A	B	B	94	東校舎
45	1536	草花小学校	校舎	16	1-06010	小学校	校舎	S	1	56	2012	H24	8	-		改築	B	B	B	B	-	75	倉庫
46	1536	草花小学校	校舎	17	1-06011	小学校	校舎	S	1	77	2012	H24	8	-		改築	B	B	B	B	-	75	体育倉庫
47	1537	一の谷小学校	校舎	1	1-07001	小学校	校舎	RC	4	3,072	1975	S50	45	済		長寿命	B	B	A	C	C	75	校舎
48	1537	一の谷小学校	校舎	2	1-07004	小学校	校舎	RC	1	108	1975	S50	45	-		要調査						0	機械室
49	1537	一の谷小学校	屋内運動場	5	1-07002	小学校	体育館	S	1	601	1976	S51	44	済		長寿命	B	B	B	B	A	78	体育館
50	1537	一の谷小学校	校舎	6	1-07003	小学校	校舎	S	1	58	1976	S51	44	-		改築	C	C	C	C	-	40	プール付属室
51	1537	一の谷小学校	校舎	7	1-07005	小学校	校舎	S	1	20	1980	S55	40	-		改築	B	B	-	-	-	75	温室
52	1537	一の谷小学校	校舎	8	1-07006	小学校	校舎	S	1	66	1987	S62	33	-		改築	B	B	B	B	-	75	体育倉庫
53	1538	前田小学校	校舎	1	1-08001	小学校	校舎	RC	3	3,553	1976	S51	44	済		長寿命	B	D	D	C	B	27	校舎
54	1538	前田小学校	校舎	2	1-08006	小学校	校舎	RC	1	81	1976	S51	44	-		要調査						0	東機械室
55	1538	前田小学校	校舎	6	1-08005	小学校	校舎	S	1	56	1977	S52	43	-		改築	C	C	C	C	-	40	プール付属室
56	1538	前田小学校	屋内運動場	7	1-08004	小学校	体育館	S	1	601	1977	S52	43	-		長寿命	B	C	C	C	C	43	体育館

【表3-4 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価】

建物情報一覽表

■ : 築50年以上 ■ : 築30年以上 ■ : 基準 2020  
■ : 概ね良好 ■ : 部分的に劣化 ■ : 広範囲に劣化  
■ : 早急に対応する必要がある

通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	標番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	耐震安全性			構造躯体の健全性			劣化状況評価					備考		
						学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	長寿命化判定	試験上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備		機械設備	健全度(100点満点)
57	1538	前田小学校	校舎	9	1-08007	小学校	校舎	RC	1	28	1979	S54	41	-	-	-	要調査										西機械室
58	1538	前田小学校	校舎	12	1-08008	小学校	校舎	S	1	40	1985	S60	35	-	-	-	改築										倉庫
59	1551	増戸小学校	屋内運動場	10	1-09007	小学校	体育館	S	1	615	1972	S47	48	済	済		長寿命										体育館
60	1551	増戸小学校	校舎	12+15	1-09001	小学校	校舎	RC	3	3,705	1973	S48	47	済	済		長寿命										校舎
61	1551	増戸小学校	校舎	13	1-09008	小学校	校舎	S	1	9	1974	S49	46	-	-	-	改築										プール付属室
62	1551	増戸小学校	校舎	14	1-09010	小学校	校舎	RC	1	83	1975	S50	45	-	-	-	要調査										東機械室
63	1551	増戸小学校	校舎	16	1-09013	小学校	校舎	W	1	10	1975	S50	45	-	-	-	改築										倉庫
64	1551	増戸小学校	校舎	17	1-09014	小学校	校舎	S	1	26	1977	S52	43	-	-	-	改築										倉庫
65	1551	増戸小学校	校舎	19	1-09006	小学校	校舎	RC	2	408	1980	S55	40	済	済		長寿命										校舎
66	1551	増戸小学校	校舎	20	1-09012	小学校	校舎	RC	1	27	1980	S55	40	-	-	-	要調査										西機械室
67	1551	増戸小学校	校舎	21	1-09015	小学校	校舎	S	1	23	1981	S56	39	-	-	-	改築										倉庫
68	1551	増戸小学校	校舎	22	1-09016	小学校	校舎	S	1	20	1982	S57	38	-	-	-	改築										倉庫
69	1551	増戸小学校	校舎	23	1-09017	小学校	校舎	S	1	5	1983	S58	37	-	-	-	改築										焼釜小屋
70	1551	増戸小学校	校舎	24	1-09009	小学校	校舎	S	1	83	2002	H14	18	-	-	-	改築										プール付属室
71	1552	五日市小学校	校舎	11	1-10010	小学校	校舎	W	1	32	1966	S41	54	-	-	-	改築										体育倉庫
72	1552	五日市小学校	校舎	12+20	1-10001	小学校	校舎	RC	3	3,442	1970	S45	50	済	済		長寿命										校舎
73	1552	五日市小学校	校舎	21	1-10003	小学校	校舎	RC	3	1,175	1974	S49	46	済	済		長寿命										西裏校舎
74	1552	五日市小学校	屋内運動場	22	1-10005	小学校	体育館	S	1	765	1975	S50	45	済	済		長寿命										体育館
75	1552	五日市小学校	校舎	23	1-10011	小学校	校舎	S	1	27	1975	S50	45	-	-	-	改築										倉庫
76	1552	五日市小学校	校舎	26	1-10012	小学校	校舎	S	1	20	1979	S54	41	-	-	-	改築										倉庫
77	1552	五日市小学校	校舎	27	1-10004	小学校	校舎	RC	2	474	1979	S54	41	済	済		長寿命										東裏校舎
78	1552	五日市小学校	校舎	29	1-10013	小学校	校舎	S	1	5	1982	S57	38	-	-	-	改築										焼釜小屋
79	1552	五日市小学校	校舎	30	1-10007	小学校	校舎	RC	1	99	1992	H4	28	-	-	-	改築										プール付属室
80	1552	五日市小学校	校舎	31	1-10006	小学校	校舎	RC	1	8	1992	H4	28	-	-	-	改築										プール倉庫
81	1552	五日市小学校	校舎	32	1-10008	小学校	校舎	RC	1	11	2002	H14	18	-	-	-	要調査										西機械室
82	1552	五日市小学校	校舎	33	1-10009	小学校	校舎	RC	1	12	2003	H15	17	-	-	-	要調査										東機械室
83	4316	秋多中学校	校舎	1	2-21001	中学校	校舎	RC	2	1,236	1964	S39	56	済	済		長寿命										A棟
84	4316	秋多中学校	校舎	2	2-21003	中学校	校舎	RC	3	1,952	1965	S40	55	済	済		長寿命										B棟
85	4316	秋多中学校	校舎	3	2-21007	中学校	校舎	RC	3	1,785	1965	S40	55	済	済		長寿命										C棟

【表3-4 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価】

建物情報一覧表

  : 築50年以上   : 築30年以上   : 築20年以内  
  : 概ね良好   : 部分的に劣化   : 広範囲に劣化  
  : 早急に対応する必要がある

通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	耐震安全性			構造躯体の健全性			劣化状況評価				備考	
						学校種別	建物用途			西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	試算上の区分	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備		機械設備
86	4316	秋多中学校	校舎	12	2-21013	中学校	校舎	S	66	1970	S45	50	-	-	-	改築	C	C	C	C	C	C	40	プール付属室
87	4316	秋多中学校	校舎	14	2-21014	中学校	校舎	RC	27	1971	S46	49	-	-	-	要調査							0	A棟機械室
88	4316	秋多中学校	屋内運動場	18	2-21010	中学校	体育館	S	1,045	1976	S51	44	済	済	H21	34.7	長寿命	B	C	B	A	A	71	体育館
89	4316	秋多中学校	屋内運動場	22	2-21012	中学校	武道場	RC	477	1982	S57	38	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	B	75	武道場
90	4316	秋多中学校	校舎	24	2-21015	中学校	校舎	S	3	1988	S63	32	-	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	75	外便所
91	4316	秋多中学校	校舎	25	2-21016	中学校	校舎	S	45	1990	H2	30	-	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	75	体育倉庫
92	4316	秋多中学校	校舎	26	2-21017	中学校	校舎	S	58	2001	H13	19	-	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	75	倉庫
93	4316	秋多中学校	校舎	28	2-21018	中学校	校舎	S	11	1993	H5	27	-	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	75	体育倉庫
94	4316	秋多中学校	校舎	29	2-21019	中学校	校舎	S	43	2009	H21	11	-	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	75	倉庫
95	4316	秋多中学校	校舎	30	2-21009	中学校	校舎	S	464	2009	H21	11	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	A	100	D棟
96	4317	東中学校	校舎	1	2-22001	中学校	校舎	RC	4,927	1972	S47	48	済	済	H20	16.2	長寿命	D	D	D	B	C	22	校舎
97	4317	東中学校	校舎	2	2-22010	中学校	校舎	RC	70	1972	S47	48	-	-	-	要調査							0	機械室
98	4317	東中学校	校舎	4	2-22009	中学校	校舎	S	53	1973	S48	47	-	-	-	改築	C	C	C	C	C	C	40	プール付属室
99	4317	東中学校	屋内運動場	5	2-22006	中学校	体育館	S	900	1973	S48	47	済	済	H21	24.1	長寿命	D	B	C	C	C	48	体育館
100	4317	東中学校	屋内運動場	10+15	2-22008	中学校	武道場	S	505	1995	H7	25	-	-	-	長寿命	A	A	A	C	C	C	85	武道場
101	4317	東中学校	校舎	11	2-22012	中学校	校舎	S	40	1998	H10	22	-	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	75	体育倉庫
102	4317	東中学校	校舎	12	2-22011	中学校	校舎	RC	48	1977	S52	43	-	-	-	要調査							0	機械室
103	4317	東中学校	校舎	13+14	2-22004	中学校	校舎	RC	1,408	1977	S52	43	済	済	H20	26.3	長寿命	D	D	D	C	B	22	北校舎+渡廊下
104	4318	西中学校	校舎	1	2-23008	中学校	校舎	RC	70	1978	S63	42	-	-	-	要調査							0	西機械室
105	4318	西中学校	校舎	3+13	2-23001	中学校	校舎	RC	4,933	1979	S54	41	済	済		長寿命	D	C	B	C	B	C	55	校舎
106	4318	西中学校	校舎	6	2-23006	中学校	校舎	S	68	1979	S54	41	-	-	-	改築	C	C	C	C	C	C	40	プール付属室
107	4318	西中学校	屋内運動場	7	2-23003	中学校	体育館	S	1,037	1979	S54	41	済	済		長寿命	A	A	A	A	A	A	100	体育館
108	4318	西中学校	校舎	8	2-23009	中学校	校舎	S	213	1980	S55	40	済	済		改築	D	B	D	C	B	C	41	倉庫
109	4318	西中学校	校舎	15	2-23007	中学校	校舎	RC	14	1984	S59	36	-	-	-	要調査							0	東機械室
110	4318	西中学校	校舎	16	2-23011	中学校	校舎	S	5	1990	H2	30	-	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	75	倉庫
111	4318	西中学校	校舎	17	2-23012	中学校	校舎	S	46	1994	H6	26	-	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	75	体育倉庫
112	4318	西中学校	屋内運動場	18	2-23005	中学校	武道場	S	501	1994	H6	26	-	-	-	長寿命	A	A	B	B	B	B	84	武道場
113	4400	御堂中学校	校舎	1	2-24001	中学校	校舎	RC	4,353	1982	S57	38	-	-	-	長寿命	B	A	B	B	B	B	82	校舎
114	4400	御堂中学校	校舎	2	2-24005	中学校	校舎	RC	105	1982	S57	38	-	-	-	要調査							0	機械室

【表3-4 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価】

建物情報一覽表

■ : 築50年以上 ■ : 築30年以上 ■ : 基準 2020  
■ : 概ね良好 ■ : 部分的に劣化 ■ : 広範囲に劣化 ■ : 早急に対応する必要がある

通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	建物番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	耐震安全性			構造躯体の健全性			劣化状況評価					備考	
						学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	長寿命化判定	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度(100点満点)
115	4400	御堂中学校	校舎	4	2-24008	中学校	校舎	S	1	40	1982	S57	38	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	B	-	75	倉庫
116	4400	御堂中学校	屋内運動場	7	2-24002	中学校	体育館	S	1	1,476	1983	S58	37	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	A	A	-	91	武道場
117	4400	御堂中学校	校舎	10+11	2-24004	中学校	校舎	S	1	75	1984	S59	36	-	-	改築	C	C	C	C	C	C	C	-	40	プール付居室
118	4400	御堂中学校	校舎	12	2-24010	中学校	校舎	S	1	40	1991	H3	29	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	B	-	75	体育倉庫
119	4400	御堂中学校	校舎	13	2-24006	中学校	校舎	S	1	222	2018	H30	2	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	A	A	-	100	新校舎
120	4400	御堂中学校	校舎	14	2-24011	中学校	校舎	S	1	15	2018	H30	2	-	-	改築	A	A	A	A	A	A	A	-	100	体育倉庫
121	4400	御堂中学校	校舎	15	2-24012	中学校	校舎	S	1	8	2018	H30	2	-	-	改築	A	A	A	A	A	A	A	-	100	体育倉庫
122	4400	御堂中学校	校舎	16	2-24013	中学校	校舎	S	1	10	2018	H30	2	-	-	改築	A	A	A	A	A	A	A	-	100	倉庫
123	4326	増戸中学校	屋内運動場	8	2-25004	中学校	体育館	S	1	816	1968	S43	52	済	済	H21	-	長寿命	B	B	B	B	A	-	78	体育館
124	4326	増戸中学校	校舎	20+23	2-25001	中学校	校舎	RC	3	3,803	1977	S52	43	済	済	H21	31.3	長寿命	B	C	C	C	B	-	47	校舎
125	4326	増戸中学校	部室	24	2-25005	中学校	校舎	S	1	55	1985	S60	35	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	B	-	75	クラブ倉庫
126	4326	増戸中学校	校舎	25	2-25006	中学校	校舎	S	1	40	1986	S61	34	-	-	改築	C	C	C	C	C	C	C	-	40	プール付居室
127	4326	増戸中学校	校舎	26	2-25007	中学校	校舎	S	1	65	1986	S61	34	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	B	-	75	倉庫
128	4326	増戸中学校	校舎	28	2-25003	中学校	校舎	RC	1	72	1977	S52	43	-	-	要調査								-	0	機械室
129	4326	増戸中学校	屋内運動場	29	2-25008	中学校	体育館	S	1	32	2011	H23	9	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	B	-	75	倉庫
130	4326	増戸中学校	校舎	30	2-25009	中学校	校舎	S	1	46	2012	H24	8	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	B	-	75	体育倉庫
131	4326	増戸中学校	校舎	31	2-25010	中学校	校舎	S	1	5	2012	H24	8	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	B	-	75	ごみ置場
132	4327	五日市中学校	校舎	6	2-26010	中学校	校舎	W	1	50	1963	S38	57	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	B	-	75	体育倉庫
133	4327	五日市中学校	校舎	7	2-26001	中学校	校舎	RC	3	1,492	1962	S37	58	済	済	H21	17.6	長寿命	A	B	B	B	B	-	77	西校舎
134	4327	五日市中学校	屋内運動場	9	2-26005	中学校	体育館	S	1	939	1967	S42	53	済	済	H21	34.8	長寿命	B	B	B	B	B	-	75	体育館
135	4327	五日市中学校	校舎	19	2-26003	中学校	校舎	RC	3	3,226	1978	S53	42	済	済	H21	26.8	長寿命	A	B	B	B	B	-	77	東校舎
136	4327	五日市中学校	校舎	22	2-26008	中学校	校舎	RC	1	65	1979	S54	41	-	-	要調査								-	0	東機械室
137	4327	五日市中学校	校舎	25	2-26011	中学校	校舎	S	1	33	1980	S55	40	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	B	-	75	倉庫
138	4327	五日市中学校	校舎	26	2-26012	中学校	校舎	S	1	13	1982	S57	38	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	B	-	75	焼釜小屋
139	4327	五日市中学校	校舎	27	2-26009	中学校	校舎	RC	1	44	1984	S59	36	-	-	要調査								-	0	西機械室
140	4327	五日市中学校	校舎	28	2-26006	中学校	校舎	RC	1	48	1988	S63	32	-	-	改築	C	C	C	C	C	C	C	-	40	プール付居室
141	4327	五日市中学校	校舎	29	2-26007	中学校	校舎	RC	1	37	1988	S63	32	-	-	改築	C	C	C	C	C	C	C	-	40	プール付居室
142	4327	五日市中学校	屋内運動場	30	2-26013	中学校	体育館	RC	1	31	2011	H23	9	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	B	-	75	倉庫
143	4327	五日市中学校	校舎	31	2-26014	中学校	校舎	S	1	4	2012	H24	8	-	-	改築	B	B	B	B	B	B	B	-	75	ごみ置場

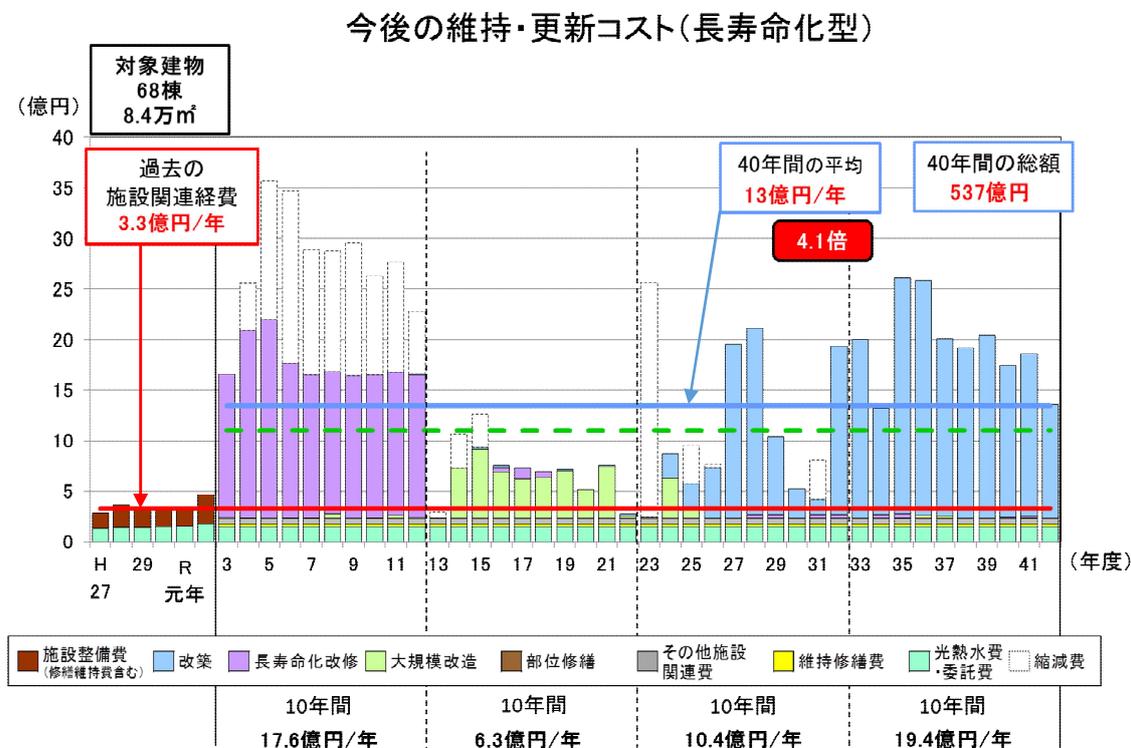


② 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

建替え中心から改修による長寿命化に切り替えていくためには、計画的な機能向上と機能回復に向けた修繕・改修を建物全体でまとめて実施する必要があります。シミュレーション上、長寿命化により築 80 年後に建物を長寿命化した場合、今後 40 年間の維持・更新コストは、総額約 537 億円（13 億円／年）となり、従来の建替え中心の場合の 439 億円（11 億円／年）より総額 98 億円、約 22.3%の増加となります。今後の学校施設の維持・更新コストは、長寿命化をしても過去 5 年間の施設関連経費の 4.1 倍に増加すると見込まれています。児童・生徒数が減少する中で施設の維持・更新費用が増加するという矛盾を抱えており、施設保有の在り方、維持・更新コストの削減及び財源確保は大きな課題となります。

個々の学校施設の長寿命化だけでは限界があることから、財政制約ラインとコストとの乖離を埋めていくため、学校施設の配置や規模、運営面・活用面等に及ぶ多面的な見直しが必要であり、適正化に向けた総合的な取組の方針を明確にする必要があります。

【図 3-5 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）】



※コスト試算条件（長寿命化型）

基準年度 2020 年

試算期間：基準年の翌年度から 40 年間

改築（建替え）

更新周期 80 年（工事期間 2 年）

実施年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施

改築単価 330,000 円/㎡

長寿命化改修

実施年数 40 年周期（工事期間 2 年）

工事単価 198,000 円（改築単価の 60%）

大規模改造

実施年数 20 年周期（工事期間 1 年）

工事単価 82,500 円（改築単価の 25%）

部位修繕

D 評価：今後 5 年以内に部位修繕を実施

C 評価：今後 10 年以内に部位修繕を実施

（ただし、改築・長寿命化・大規模改造を 10 年以内に実施する場合を除く）

A 評価：今後 10 年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

## 4 学校施設整備の基本的な方針等

### (1) 学校施設の規模・配置計画等の方針

本計画の上位計画となる、「あきる野市公共施設等総合管理計画」には、次の基本方針が示されています。

#### 〈公共施設の整備に関する基本方針〉

<b>1 維持管理・修繕・更新等について</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>●維持管理を計画的に行い、長寿命化を図ることによる更新費用の平準化</li><li>●PPP・PFI等の民間活力導入を検討し、経済性と合理性に優れた手法によるサービスの維持・向上並びに維持管理コストの軽減</li></ul>
<b>2 安全確保について</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>●利用者の安全・安心のための迅速な維持・修繕対応</li><li>●危険が発見された場合、施設廃止等の措置も含めた存続の在り方の検討</li></ul>
<b>3 耐震化について</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>●災害時の指定避難所となっている施設の非構造部材の耐震化</li><li>●平常時の安全確保並びに災害発生時における拠点施設としての安全及び機能の確保</li></ul>
<b>4 長寿命化について</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>●予防保全型の施設保全に移行し、施設の長寿命化を図ることによる、ライフサイクルコストの縮減と財政負担の平準化</li><li>●中長期の視点に立った、個別施設計画の策定による効率的かつ効果的な維持管理</li></ul>
<b>5 統廃合について</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>●類似施設の統合による集約化、建替え等を行う場合の複合化など、総量抑制や維持管理費用の縮減の検討</li><li>●施設の規模や機能、利便性等を踏まえて、当該施設の必要性を十分に検討し、合併前の旧行政区域にとらわれない施設配置の検討</li></ul> <p>〈学校〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●予想される児童・生徒数の推移を踏まえるとともに、小中一貫教育の推進や小規模学校の在り方等から、学校の適正配置について検討を進めます。</li><li>●人口減少や少子高齢化による住宅市街地等の変化等を踏まえ、学校の配置及び規模の適正化について検討を進めます。</li><li>●児童・生徒の増加により、校舎の増築等を行ってきた学校では、今後の児童・生徒数の見通しや更新時期等を見据えて、校舎の合築等により、床面積の適正化の検討を行います。</li><li>●放課後子ども総合プランを踏まえ、放課後子ども教室の開設や学童クラブの活用など、地域の子育て支援の機能の強化等に資する機能複合化の検討を進めます。</li></ul>

- ① 学校施設の長寿命化計画の基本方針  
上位計画の基本方針を基に、「学校施設の目指すべき姿」を踏まえた上で、基本方針を次のとおりとします。

〈学校施設の長寿命化計画の基本方針〉

## 1 安全・防災面

### 長寿命化の推進

計画的に改修工事等を実施し、学校施設の長寿命化を図ります。

### 安全性に配慮した整備

学校施設の老朽化により生じる外壁のひび割れや浮き、建具の開閉不良などによる事故を防ぐため、維持管理手法を従前の「事後保全」から損傷や支障が表面化する前に対策を講じる「予防保全」に移行し、安全性の確保に努めます。

### 避難所利用における整備

体育館は、避難者の安全を確保するための対策や避難生活での環境面に配慮した設備を整えるなど、避難所として機能するよう整備を進めます。また、防災機能強化の観点から、他の学校施設の利用についても検討します。

## 2 学習・生活面

### 学習環境の向上

多様な学習内容・学習形態に対応できる環境の整備のほか、ICT 機器など必要となる設備の整備を進めます。

### 生活環境の向上

バリアフリー化やトイレの乾式化を行うことで、誰もが利用しやすい施設整備を進めます。また、近年の猛暑やPM2.5などが児童・生徒の健康に影響を及ぼす可能性を考慮し、体育館への空調設備整備を進めていきます。

## 3 複合化・効率化

### 施設整備費の縮減

施設規模に比例して整備費用も大きくなるため、財政面や社会の状況（少子化など）に応じた効率的な改修を行う必要があります。このため、一律に全施設で大規模な改修を行うのではなく、児童・生徒数の推移や劣化度合、改修後の使用年数などを考慮し、必要に応じて部位改修による対応を行うことで整備費用を縮減します。

### 環境負荷低減への配慮

環境負荷や維持管理コストの低減を図るため、省エネルギー機器への更新、内装の木質化などの整備を進めます。

### 他の公共施設との複合化

今後、児童・生徒数の減少により余裕教室が生じることが考えられるため、改修に当たっては、将来的に、学校施設の一部を地域コミュニティに開放することや他の公共施設（児童福祉施設・社会教育施設等）と複合化ができるように、転用可能エリア分けや動線の整理など、児童・生徒の安全性を考慮した配置・平面計画の検討を行います。

### プールの在り方の見直し

学校のプールについては、使用時期が限られており、授業実施の可否が天候に左右されること、使用頻度に対する維持管理費が大きいことなどが課題と言えます。

一方、市内には、学校施設以外にも屋内仕様の温水プールなどがあり、それら施設を活用した場合、天候に影響されない授業実施が可能となり、工夫次第では施設の利用率の向上が見込めること、施設の指導員等に指導を委託することで教員の負担軽減・働き方改革にも寄与するなどの効果が期待できます。

しかしながら、これを実現するためには、移動手段や移動に要する時間・財源を確保し、引率教職員の体制についても構築しなければなりません。また、現状の学校プールは、消防法に基づく消防水利に指定されていることなどから、プールの在り方を見直すに際しては、それらの状況や条件を踏まえて検討を進める必要があります。

## ② 学校施設の規模・配置計画等の方針

前述の「児童・生徒数及び学級数の変化」のとおり、児童・生徒数は、今後、減少していくことが予測されています。そのため、学校施設の規模及び配置については、児童・生徒数の見通しや更新時期などを見据えて検討する必要がありますが、学校運営には地域連携が求められており、平時における地域住民の利用だけでなく、災害発生時には避難所として活用される地域拠点であることも踏まえて考える必要があります。

また、社会的なニーズを踏まえての個に応じたきめ細かな学習指導や学習成果を高めるための少人数学級の取組も進んでいることから、児童・生徒数の減少に応じた施設規模という考えに固執することなく、時代の趨勢や時点ごとの本市教育現場の実情などを加味し、検討を行っていく必要があります。

さらには、「あきる野市小中一貫教育推進基本計画」では、既存の6つの中学校区を活用して、地域の実態に即した小中一貫教育を推進するとなっていること、「あきる野市特別支援教育推進計画」では、関係機関との連携を図り、各学校の状況に即した特別支援体制を構築していくことになっていることを踏まえ、建替や改修の時期に合わせ検討を行っていく必要があります。

## (2) 改修等の基本的な方針

### ① 長寿命化の方針

従来の改築を中心とした老朽化対策では、対応しきれない施設が増加する中、財源の確保は大きな課題と言えます。中長期的な維持管理等に掛かるトータルコストの縮減・予算の平準化を実現するため、改築より工事費が安価で、廃棄物や二酸化炭素の排出量が少ない長寿命化改修への転換を図っていく必要があります。一方で、鉄骨、鉄筋、コンクリート等の躯体の劣化状況によっては、改修、改造に多額の費用が掛かるため、改築した方が経済的に望ましいこともあることから、時間を掛けて入念な調査を行い、評価・判定の結果に基づき検討していく必要もあります。

これらの状況や要件に加え、本市小・中学校においては、既に校舎、体育館とも耐震補強工事を実施していることを踏まえ、改修による施設の長寿命化を本計画における基本的な方針とします。

### ② 予防保全の方針

施設をできる限り長く使うためには、適切な維持管理を行っていくことが重要です。そのためには、老朽化による劣化・破損等の不具合が生じた後に修繕等を行う「事後保全」だけでなく、損傷が軽微な早期段階から、予防的な修繕等を実施することで機能・性能の保持・回復を図る「予防保全」を導入することも有効です。「予防保全」を行うことにより、突発的な事故や費用発生を減少させることができ、施設の不具合による被害リスクを緩和することや、改修、日常的な維持管理の費用を平準化し、中長期的なトータルコストを下げるのが可能となります。その一方で、毎年の維持管理費としてある程度の費用を見込む必要が出てきます。特に、機械・電気設備は、建物本体とは切り離して改修等の周期を検討する必要があります。

今回、策定される計画に基づく学校施設全体の整備をするまでの間は、現状どおり、他の公共施設も含めた市全体の計画の進捗状況を踏まえ、財政面を考慮し、老朽化している部位について、順次、改修や改善を行うこととします。

### ③ 目標使用年数及び改修周期の設定

鉄筋コンクリート造の学校施設の法定耐用年数は、47年となっています。しかし、これは税務上の減価償却費を算定するためのもので、文部科学省の調査研究では、「物理的な耐用年数はこれより長く、適切な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には70～80年程度、さらに、技術的には100年以上持たせるような長寿命化も可能である」とされています。

このことを踏まえ、文部科学省発行の「学校施設の長寿命化計画策定に係る手

引」を参考とし、本市においては、学校施設の目標使用年数を 80 年と設定します。

また、大規模改造及び長寿命化改修の周期については、【図 4-1 改築中心から長寿命化への転換イメージ】のとおり、大規模改造を建築後 20 年及び 60 年、長寿命化改修を建築後 40 年に設定します。

このことにより、学校施設の機能・性能の低下を長期間放置することなく、求められている水準まで引き上げる機会を定期的に得ることができるというメリットが生まれます。

国庫補助を活用して長寿命化改修を行った場合は、国庫補助条件として 30 年間使用し続けなければならないという条件が課されるため、既に築 50 年以上経過した学校施設については、補助事業に則した整備を検討し、実施します。

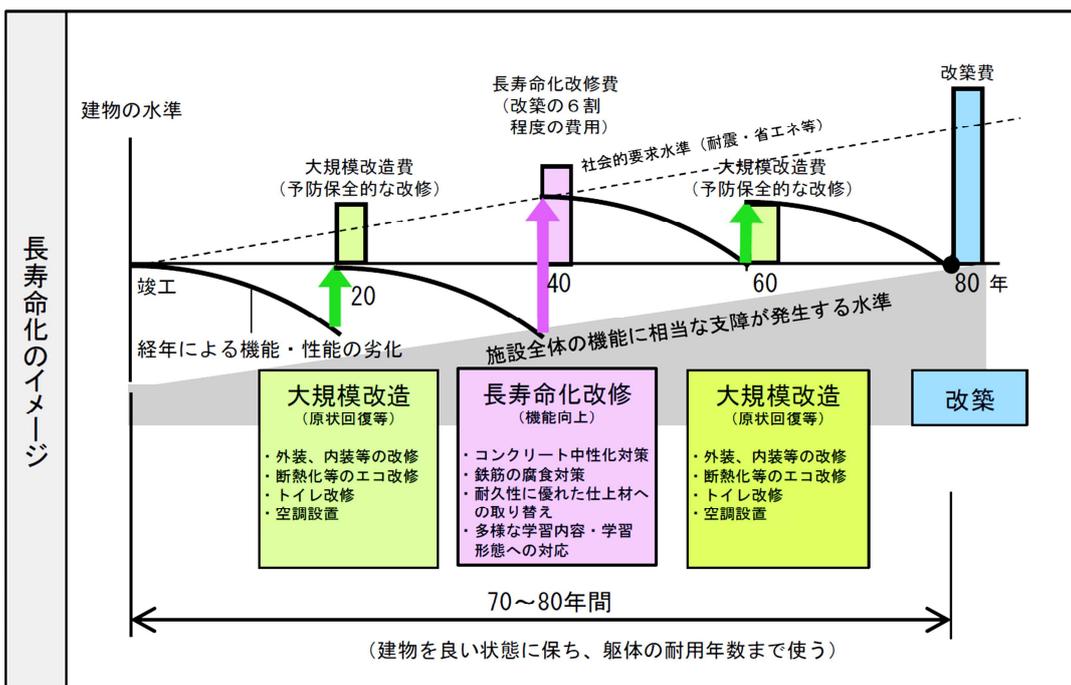
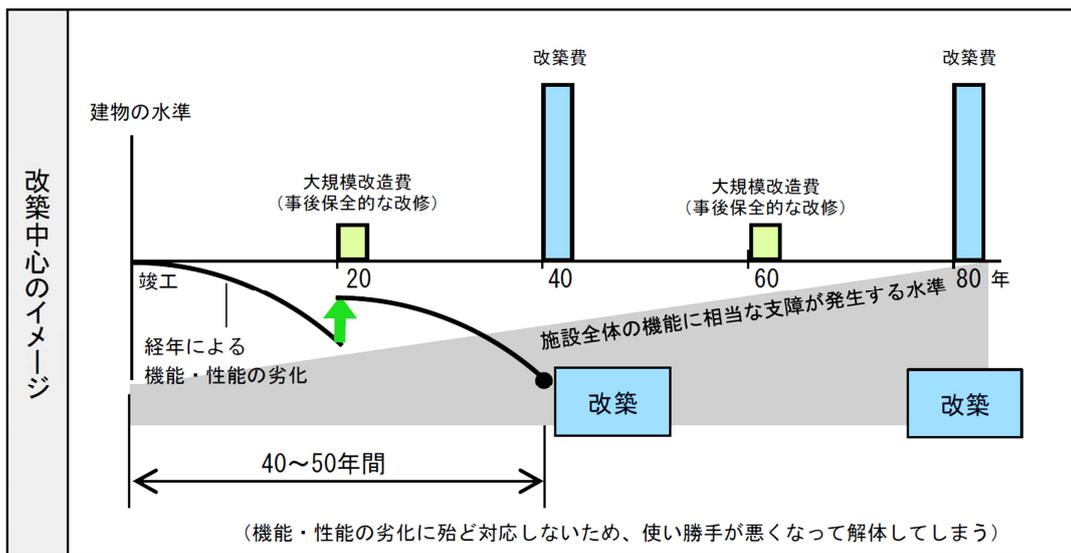
なお、対象建物のほか、木造、コンクリートブロック造、軽量鉄骨（プレハブ）造等、比較的簡易な建物を含め、改築せざるを得ない状況が発生した場合には、改築までの期間に応急的な保全を行うなど、当面の安全性・機能性等を確保するための検討が必要となります。

区分	目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修
校舎 体育館 武道場	80 年	築 20 年／60 年	築 40 年

#### ④ 構造に関する方針

文部科学省発行の「学校整備指針」では、計画及び設計における留意事項として、企画の段階から学校・家庭・地域等の関係者の参画により、施設づくりの目標を共有し、理解と協力を得ながら総合的に計画することが重要であり、その際、教育や建築等の有識者の指導助言を受けることが望ましくなっています。このことを踏まえ、建替や改修の時期に合わせ、企画の段階から関係者と十分協議を行い検討していく必要があります。

【図 4-1 改築中心から長寿命化への転換イメージ】



大規模改造
経年劣化による消耗、機能低下に対する機能回復工事
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上防水改修</li> <li>・外壁改修</li> <li>・トイレ改修</li> <li>・内装改修</li> <li>・設備機器改修</li> <li>・劣化の著しい部位の修繕</li> <li>・故障、不具合修繕 等</li> </ul>

長寿命化改修
経年劣化による機能回復工事と、耐用性、快適性、省エネ性を確保するための機能向上工事
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上防水改修</li> <li>・外壁改修</li> <li>・トイレ改修</li> <li>・内装改修</li> <li>・設備機器改修</li> <li>・劣化の激しい部位の修繕</li> <li>・故障、不具合修繕 等</li> <li>・コンクリート中性化対策</li> <li>・鉄筋の腐食対策</li> <li>・バリアフリー改修</li> <li>・外壁、屋上の断熱化改修</li> <li>・省エネルギー機器への更新</li> </ul>

## 5 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

### (1) 改修等の整備水準

#### 大規模改造

建物本体の仕上げ部分（内・外装仕上げ、建具、什器類、水回り）の全面改造を行います（原則下地は残す）。

機械・電気設備（機器、配線、配管等）は、老朽化の程度により、分解修理又は取り替えます。

#### 長寿命化改修

建物本体の仕上げ及び下地の撤去を行い、構造躯体の点検・調査を実施し、改修方法を検討後、改修します。

機械・電気設備は、使用できるもの以外取り替えます。

#### 部位修繕

建物本体の内・外装仕上げ、建具、什器類、水回り、設備機器等の改修について、突発的な不具合や劣化の著しい箇所について行います。

#### 社会的要求への対応

学習環境、生活環境、省エネ化、ユニバーサルデザイン、防災・防犯、避難所等について、整備をする時点で検討する必要があります。

### (2) 維持管理の項目・手法等

長寿命化を図り、健全な状態を保つための日常的・定期的な施設の点検や清掃により、劣化状況の把握や異常の早期発見が可能となり、状況に応じた改修内容や時期を計画に反映することができます。

今回、策定する計画のために収集した建物の基本情報や工事履歴等の資料を整理し、今後の施設維持・管理に活用します。

また、それら資料を、次回の調査にも効率的に使用できるようにマニュアル化するとともに、日常の点検にも利用できるように検討していきます。

さらに、建築基準法の規定に基づく定期調査・検査及び施設を健全に運営するために行ってきた維持管理・保守整備等の業務委託の結果を蓄積して評価・判定に活用します。

なお、維持管理・保守整備等について、現在行っている業務の他にも、空調設備等専門業者でなければできない業務もあるので、見直しの検討を進めます。

建物の劣化状況等の評価を行うための調査周期は、建築基準法の法定点検に合わせて3年ごとに行うように検討していきます。

## 6 長寿命化の実施計画

### (1) 改修等の優先順位付けと実施計画

あきる野市教育委員会では、「あきる野市総合計画後期基本計画」の策定に合わせ、平成23年3月に「あきる野市教育基本計画」(平成23~25年度)(以下「第1次計画」という。)を策定し、教育の振興のため、各施策を計画的に推進してきました。

第1次計画に学校教育環境の整備として掲げた小・中学校の耐震化、小・中学校全教室へのエアコン設置は既に完了しており、トイレの洋式化を始め老朽化した施設の改修についても計画的に実施しています。また、児童数が減少していた戸倉小学校と小宮小学校については、地域の理解が得られたことから、小宮小学校は平成24年度に、戸倉小学校は平成25年度に五日市小学校へ統合しました。

その後、学校施設の更なる安全性の向上のため、天井や照明など非構造部材の耐震化を実施するとともに、老朽化への対応については、市所有施設の全体整備計画の中で計画的に整備を進めていくこととし、第1次計画の方針を引き継ぐ「あきる野市教育基本計画(第2次計画)」を平成26年3月に策定しました。

第2次計画においては、学校教育環境の整備として、「児童・生徒が安心して通える、安全で快適な教育環境の整備を推進する」という取組目標を定めています。学校施設は、児童・生徒が一日の大半を過ごす学習・生活の場であることを踏まえ、充実した教育活動を展開できるように、快適かつ、衛生的で、安全性や防犯性、防災機能を備えた環境として整える必要があります。とりわけ、地震発生時の校舎・体育館の安全を確保するためには、天井や照明機器など非構造部材の耐震化が重要であることから、特に、危険性の高い天井材の落下等を防ぐための耐震化を行います。一方、老朽化している学校施設については、これまでどおり、順次、改修や改善を行い、その他、学校施設全体の整備については、他の施設等も含めた市の全体計画の進捗状況を踏まえて、整備を進めていきます。

なお、現行の市の総合計画改定時期が令和3年度に延伸されたことに伴い、「あきる野市教育基本計画(第2次計画)」についても整合を図り、改定時期を延伸するため、今後、それら上位計画の改定内容を踏まえ、改修実施計画も見直しの検討が必要となります。

あきる野市総合計画「ヒューマン・グリーンあきる野」実施計画（令和3年度～令和5年度）に計上された事業は、次のとおりです。

【事業計画】

事業名	非構造部材耐震化事業		
事業概要	学校施設における非構造部材の耐震性能の向上に向け調査、設計、工事を行う。		
事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		◇校舎・体育館非構造部材耐震化改修工事	◇校舎・体育館非構造部材耐震化改修工事

事業名	小学校整備事業（老朽化改修）		
事業概要	老朽化した学校施設を安全で衛生的かつ利便性のある施設環境に改善する。		
事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	◇西秋留小学校特別支援教室棟改修工事 ◇防火設備改修工事(草花小) ◇一般改修工事	◇受変電設備改修工事 ◇一般改修工事	◇受変電設備改修工事 ◇一般改修工事

事業名	小学校整備事業（計画的改修）		
事業概要	学校施設を法律に適合し、安全で衛生的かつ利便性のある施設環境に改善する。		
事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	◇小学校体育館空調設備設置工事（全10校） ◇校舎空調設備改修工事（西秋留小/多西小） ◇受変電設備改修工事（東秋留小/草花小）	◇校舎空調設備改修工事 ◇受変電設備改修工事	◇校舎空調設備改修工事 ◇受変電設備改修工事

事業名	中学校整備事業（老朽化改修）		
事業概要	老朽化した学校施設を安全で衛生的かつ利便性のある施設環境に改善する。		
事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	◇給水設備改修工事（東中） ◇一般改修工事	◇東中学校校舎渡り廊下棟改修工事 ◇一般改修工事	◇一般改修工事

事業名	中学校整備事業（計画的改修）		
事業概要	学校施設を法律に適合し、安全で衛生的かつ利便性のある施設環境に改善する。		
事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	◇受変電設備改修工事（東中） ◇給水設備改修工事（東中） ◇校舎空調設備改修工事（秋多中/五日市中）	◇東中学校校舎渡り廊下棟改修工事 ◇校舎空調設備改修工事	◇校舎空調設備改修工事

事業名	小学校施設維持管理事業		
事業概要	学校施設が法律に適合し、安全で衛生的かつ利便性のある施設環境に改善する。		
事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	◇維持修繕 ◇保守点検業務委託	◇維持修繕 ◇保守点検業務委託	◇維持修繕 ◇保守点検業務委託

事業名	中学校施設維持管理事業		
事業概要	学校施設が法律に適合し、安全で衛生的かつ利便性のある施設環境に改善する。		
事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	◇維持修繕 ◇保守点検業務委託	◇維持修繕 ◇保守点検業務委託	◇維持修繕 ◇保守点検業務委託

その他、感染症対策のため、空調、換気、衛生設備などについて、必要に応じて整備を行い、安全確保を図ります。

## 7 長寿命化計画の継続的運用方針

### (1) 情報基盤の整備と活用

本計画を推進するに当たり、学校施設の状況や改修履歴などをデータとして蓄積し、確実に更新することが重要となります。

次の情報を適切に管理し、施設の実態を把握することで、今後の改修内容や時期などを総合的に判断します。

◆公立学校施設台帳……………	学校施設の基本情報
◆改修、修繕の履歴	
◆定期・法定点検等報告書……………	点検時の指摘事項等
◆工事及び修繕等要望書……………	各学校、PTAからの工事及び修繕要望
◆本計画における劣化状況調査結果……………	施設の劣化状況及び相対的な老朽度の評価

各データは、施設状況に変更が生じた際や改修、報告などが行われた際に適宜更新するほか、毎年度、更新の有無を含め内容を確認します。

### (2) 推進体制等の整備

本計画策定後も、学校施設の老朽化は進行し、状況は変化していきます。また、学校施設に求められる機能や水準も変わっていくことが考えられます。

これら学校施設の状況を的確に把握するためには、学校や教育委員会各課、点検等実施業者との連携が重要です。また、適切な維持保全のため、業務に精通した職員の育成を推進するとともに、本計画に基づき長寿命化を確実に実施するため、関係部署との連携をより一層図り、推進体制を充実させていきます。

本計画を実行するには、構想、方針決定、企画、基本設計、実施設計及び施工の各段階について十分な期間を確保した年次計画等を策定し、計画的に整備を進めることが必要となります。特に、企画から基本設計へ至る段階については、十分な計画期間を確保することが必要です。

### (3) 財源の確保

安全で快適な教育環境を維持するためには、継続的な学校施設の維持管理や改修が必要となり、財政面で大きな負担となります。

今後も、国庫補助事業及び東京都補助事業を最大限に活用し、また、各省庁等の補助事業について調査、研究に務め、財政支出の縮減を図ります。

主な補助事業 (文部科学省所管)	危険建物の改築事業、長寿命化改良事業、防災機能強化事業 大規模改造事業（老朽改修、エコ改修、トイレ改修、空調設置、校内LAN整備など）
---------------------	------------------------------------------------------------------------

次期、「公共施設等総合管理計画」の財政シミュレーションが示されるまでの間、実施計画等で予定している施設整備を効率的に実施していきます。

#### (4) フォローアップ

本計画に基づき、効率的かつ効果的な施設整備を進めていくためには、次のPDCAサイクルを確立し、的確にフォローアップをしていくことが重要です。

①施設の状況を把握した上で、それを踏まえた整備計画を策定	<Plan>
②計画に基づく日常的な維持管理や適切な改修を実施	<Do>
③整備による効果を検証し、整備手法の改善点などを整理	<Check>
④次期計画に反映	<Act>

また、本計画は、学校施設の改修や建替えをする際の手順書として活用し、「あきる野市公共施設等総合管理計画」及び市全体の財政計画の中で、年次及び個別の事業費を精査していくとともに、事業の進捗状況、定期的・法定的な点検から得られる老朽化に関する状況・評価などの結果に加え、少子化など社会の状況を踏まえた上で、10年ごとに見直しを行います。

本計画に基づき長寿命化を進行管理するため、施設を日常的に管理する学校、維持保全を実行する教育施設担当、施策の取りまとめや予算編成、財産を管理する担当等関係部署と密接に連携を図り、計画を推進していきます。